２０２５年９月１６日
公益財団法人イオン環境財団

９月２３日(火)「石巻復興の森植樹祭２０２５」を開催

みどりあふれる沿岸部の再生を目指して２，０００本の植樹と育樹活動を実施

公益財団法人イオン環境財団（理事長　岡田元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長）は９月２３日（火)、「石巻復興の森植樹祭２０２５」を実施します。

石巻市南浜地区は、東日本大震災により甚大な被害を受けました。植樹地の「石巻南浜津波復興祈念公園」は、亡くなられた方々への追悼、震災の記憶と教訓を後世へ伝承し、復興への強い意志を示すことを目的に、国、宮城県、石巻市が一体となって整備した公園です。

当財団は、２０１９年より「復興の森植樹祭」に参画しています。復興のシンボルとなる公園づくりを進め、環境学習や体験もできる森づくりを目指して、２０２８年までの１０年にわたり地域の皆さまとともに植樹・育樹を継続する計画です。これまでに約４３，０００本の植樹を行いました。

本年は、地域ボランティアの皆さまと共に５００名で２，０００本のクロマツ植樹と育樹活動を行います。これまでに植樹したエリアでは生物多様性豊かな森づくり推進のために、育樹活動を行います。

当財団は、今後も被災地復興の植樹をはじめとする環境活動に、積極的に取り組んでまいります。

記

日　時	２０２５年９月２３日（火・祝）　１０：００～１２：００				
場　所	石巻南浜津波復興祈念公園（宮城県石巻市南浜町２丁目１−５６）				
本　数	２，０００本（抵抗性クロマツ他）				
参加者	５００名				
主　催	公益財団法人イオン環境財団				
共　催	宮城県、石巻市、石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会				
後　援	国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所				
出席者	国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所	所長	岩崎	健	様
	宮城県 東部土木事務所	所長	佐藤	宏	様
	宮城県 水産林政部	副部長	大信田	知英	様
	石巻市	市長	齋藤	正美	様
	石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会	会長	黒澤	健一	様
	公益財団法人イオン環境財団	専務理事	山本	百合子	

以上

石巻南浜津波復興祈念公園

２０２４年育樹活動

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（当財団名誉理事長　イオン株式会社 名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境をテーマにした民間企業単独の財団法人として１９９０年に設立されました。以来「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の４つの事業活動を中心に活動しています。
現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹活動】

万里の長城での植樹をはじめとする植樹活動は、国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに活動を継続実施してまいりました。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹本数は１９９１年から累計約１，２７６万本（２０２５年２月末時点）となります。

【東北における植樹などの活動】

■秋田県下浜海岸（２００５年～２００９年）

酸性雨や松食い虫の被害にあい、大部分が立ち枯れ状態にあった秋田県の日本海沿岸の松林を再生するため、ボランティアの皆さま４，３００名とともに、５年間でエゾアカマツなど４２，２５０本を植えました。２００７年の植樹には、当財団の１５周年記念式典にてご講演いただいた、ノーベル平和賞受賞者であり、元ケニア環境副大臣のワンガリ・マータイ氏にもご参加いただきました。

■山形県南陽市（２０１０年～２０１２年、２０２５年）

松くい虫被害などで荒れた森林を再生させるため、２０１０年から３年間でボランティアの皆さま１，０００名とともにケヤキ、モミジなど５，１００本を植えました。
本年１０月には、秋葉山にて山林火災「復興」植樹を実施予定です。

■宮城県石巻市上釜ふれあい広場（２０１２年）

東日本大震災で津波被害を受けた上釜ふれあい広場にて、１，６００名のボランティアの皆さまとともに、タブ、シラカシ、ツツジなど地域に自生する苗木１５，０００本を植えました。

■宮城県亘理町（２０１６年～２０１８年、２０２３年）

東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生を目指して宮城県が推進する「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」に賛同し、２０１６年から３年間で、ボランティアの皆さま３，１００名とともに、クロマツ、コナラ、ヤマザクラなど４４，５００本を植えました。
昨年より草刈りなどの育樹活動も実施しており、本年１１月は育樹活動と観察会を実施予定です。

■福島県いわき市（２０１７年）

福島県いわき市と締結した「森林づくりに関する協定」に基づき、東日本大震災により流失した防災海岸林ならびに沿岸部の再生を目的として、７００名のボランティアの皆さまとともにクロマツ、ヤマザクラ、トベラなど７，０００本を植えました。

■「第６９回全国植樹祭ふくしま２０１８」（２０１８年）

２０１８年に福島県南相馬市にて開催された「第６９回全国植樹祭 ふくしま２０１８」に対し当財団は、苗木の提供や会場運営などの協賛・協力を行いました。